

# にかほ 議会だより

8.1 2021 vol.67



7月11日 こそだてフリマPARK  
にかほ市多目的屋内運動場



## 4月臨時会・6月定例会

臨時会・定例会の概要	2
議案・賛否一覧	5
各委員会の審査	6
一般質問	9
<b>特集</b> 市民の声は実を結んだか?	14
編集後記ほか	16

発行責任者 にかほ市議会  
にかほ市議会広報広聴委員会

郵便番号 〇一八〇一九二  
秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田一

TEL 〇一八四四三二七五二一  
FAX 〇一八四四三二七五二一

発行部数 一〇,〇〇〇部

### 議会活動報告

- 4/13、6/11、7/13 広報広聴委員会
- 4/27 第3回臨時会
- 4/27、5/31、6/21 全員協議会
- 4/27 議会改革推進会議
- 5/31、6/11 議会運営委員会
- 6/8～21 第4回定例会
- 6/8 正副議長・正副委員長会議

掲載した他にも、市内外の行事等へ出席しています。

### 9月定例会の予定

- 8/31(火) 初日  
本会議(市政報告、議案説明ほか)
- 9/2(木)～3(金)  
本会議(一般質問)
- 9/7(火)  
本会議(議案質疑、付託ほか)
- 9/8(水)～16(木)  
常任委員会(小委)審査
- 9/17(金) 最終日 本会議  
(委員長報告、討論、採決ほか)

※日程は目安として、傍聴の際は電話で  
ご確認ください。

議会事務局 TEL 43-7511



**編集後記**

情報化社会と言われて久しいが、パンデミックによる情報の攪乱が著しい。もっともらしいカタカナ語が飛び交う。何が真で何が偽なのか。このままでは人はどこへ流されていくかわからない。そんな中で、私は「ん？」を大事にしたい。非常に感覚的ではあるが、わずかな「ん？」を見逃さず、ことなく捉えていきたい。感覚的な「ん？」は命とかわっている。命とかわって来た女性の「ん？」は時代を救うと確信する。

女性よ議会へ。

議会広報広聴委員会  
委員 伊東 温子

議会からお願い

**新型コロナ感染に伴う  
誹謗中傷を防止しましょう**

秋田県の新型コロナウイルス感染症に伴う  
誹謗中傷防止共同宣言 抜粋

「互いに連携して、感染した方やその家族への誹謗中傷や差別的な言動を防ぎ、思いやりを持った冷静な行動を、人権を尊重するやさしさに満ちた寛容な社会の実現を目指します。」

感染者が少なかつた秋田県内でも相次いで感染例が報告され、誰もが感染者となり得る状況です。ワクチン接種は5月から開始していますが、にかほ市議会では引き続き感染拡大防止と寛容な社会の両立、実現を目指します。

お手紙、FAX、  
メールで

**議会へ声をお寄せください！**  
**議会だよりへの**  
ご意見・お声をお寄せください！

お声の届け先

郵送 〒018-0192  
にかほ市議会事務局 宛て

メール gikai@city.nikaho.lg.jp

FAX 0184-43-7513





## 6月定例会 (令和3年第4回定例会)

### 議会の視点

一般質問では、市民生活に身近なワクチン接種の問題から、コロナ下での市の各種取り組みを通じて、にかほ市の将来像が問われた。具体的には、GIGAスクール構想(学校へのタブレット導入)や各産業の振興等であるが、将来像に関連して、今秋の市長選への現市長の出馬を問う質問も出された。市長は、定例会後、出馬を正式表明した。総務常任委員会では、「わくばにかほ(旧上浜小)、にかほのほか(旧上郷小)の利活用状況・事業の進捗よく」「若者支援住宅整備事業の手法、基本構想・基本計画」の2件について、所管事務調査を実施した結果、「若者く」については閉会中の継続審査とした。

議会は改修工事や各種委託料、土地購入等の予算を可決。事業はスタートしているが、全体像、完成形は明確に見えてはいない。今後、その時々提案される予算の「是非」を判断するのであ

# ～若者支援住宅、新型コロナ対策など～ 令和3年度 一般会計補正予算 計6.8億円を可決 コロナワクチン接種では対応に苦言

市議会は、4月臨時会(4月27日)、6月定例会(6月8日)が招集・開催されました。臨時会では令和2年度、令和3年度の補正予算など、6月定例会は、令和3年度の補正予算のほか条例改正5件などの議案計11件、陳情2件、議員提案2件が上程されました。4月、6月議会のいずれも、全議案が全員の賛成で承認、可決されています。

## 4月臨時会 (令和3年第3回臨時会)

### ●議案第40号

にかほ市税条例等の一部を改正する条例制定の専決処分

【概要】国の税制改正に伴う市税条例の改正。新型コロナウイルスの社会・経済への影響に対し、個人市民税の住宅ローン控除など負担軽減を図る。

### ●議案第42号

令和2年度にかほ市一般会計補正予算(第17号)の専決処分

【概要】主に財源振替と財政調整基金2・5億円、みらい創造基金8千万円の積立。補正後の令和2年度一般会計予算の総額は約200億円。財政調整基金残高は約28・3億円。

### ●議案第45号

令和3年度にかほ市一般会計補正予算(第3号)

【概要】長期化する新型コロナウイルスの影響に対する子育て世帯と飲食店の支援事業

- ・子育て世帯生活支援特別給付金 14,721千円
- ・飲食応援消費還元事業(お出かけレストラン・おうちでレストラン) 67,629千円

### 議会の視点

売上が落ち込む飲食店に対する消費喚起策について、議会では店舗での感染予防等が質疑された。マスク、手指消毒、三密回避など、感染症対応は浸透してきたが、店舗で取り組みにバラツキがあるのも確かである。市は予防ガイドライン等の周知を図るとしている。

るが、全体計画、手法等在这样的な調査(閉会中も継続)で推移を見守るのである。

所管事務調査  
…常任委員会の権限としての自主的な調査

### 継続審査

…会期中に議決に至らない(調査等が終了しない)時に、付託を受けた委員会が閉会中に審査を引き続き行うこと

### 〈主な議案〉

#### ●議案第51号

令和3年度にかほ市一般会計補正予算(第4号)

- ・大学生等生活支援事業委託料(商品券) 24,098千円
- ・大学生等生活支援給付金(現金給付) 14,000千円
- ・生活応援事業商品券作成等業務委託料 51,384千円
- ・子育て世帯生活支援特別給付金 6,500千円
- ・院内学童保育クラブ改修工事 6,369千円

### Q・改修計画の詳細と財源は。

A・旧院内診療所を学童保育クラブとして利用するための改修壁の撤去、ロッカー、タイルカーペット設置、外構ほか。財源は国、県の補助金と、地方債。一部補助対象外がある。

### 注目事業①

## 新型コロナウイルス 接種事業

- ・国民健康保険事業施設勘定操出金 44,700千円
- ・高機能消防指令センター等更新業務委託料(第1期) 149,710千円
- ・消防団ポンプ車庫改築工事 13,000千円
- ・新型コロナウイルス接種委託料 2,277千円
- ・新型コロナウイルス接種事業関連委託料 22,977千円

### 概要

にかほ市でのワクチン接種は5月に65歳以上の集団接種、医療・介護施設での接種、6月には一部医療機関での個別接種が開始された。7月からは64歳以下(基礎疾患有)の集団接種予約を開始。国の大規模接種センターや企業等の職域接種なども並行して進んでいる。

### 議会の視点

65歳以上の高齢者を皮切りに新型コロナウイルス接種が5月にスタート、その中、6月定例会が招集され、14日間の会期で議会審議された。

任意とする全市民を対象としたワクチン接種は、国県からのワクチンの供給量をにらみながらの事前予約の受付、密を避けた接種体制や交通手段の確保等々、前例のない手探りの対応となる取り組みである。予約の電話が繋がりにくいなどの苦言、一部医療機関での接種に関して疑義が出されたが、総じて計画通り推移、公正に執行されていると見られる。

一般質問も、接種予約の進捗状況及び反省と改善点、65歳以上の接種完了と64歳以下の接種開始時期をはじめ、個別接種、副反応の有無など、ワクチン接種に対する市民の疑問を代弁するものが多かった。

今後のワクチン接種事業で望まれるのは、市民への丁寧な広報と、対象年齢拡大を盛り込んだ上で円滑に事業を進めることのできる新たな接種計画である。





注目事業②

若者支援住宅整備事業

・公有財産購入費  
(若者支援住宅整備事業)  
88,650千円

【概要】人口減少・少子高齢化の加速を抑制し、地域活性化を担う人材確保のため、若年層の定住化や地元回帰を促進させる事業。少人数世帯向けの住宅を整備する。集合住宅で116戸。官民連携、民間資金活用を想定する。

事業イメージ
はじめは 単身、夫婦の世帯
「若者支援住宅」
家族が増えた！
大きな間取りへ お引っ越し！ 「民間賃貸」「住宅取得」

Q1・「廉価な家賃で貸し出す」とする計画だが、廉価な家賃をどのようにして実現するのか。民間アパートとの住み分け(競合しないように)をどう考えているか。

A1・軽減措置や補助などによって若年入居者の負担を抑えるようなスキーム・イメージで詳細を検討している。本事業では、少人数世帯のための1Kや2DK等を整備する。市内には同タイプの物件が少ないので役割は異なる(ので競合も少ない)。市内で(移住定住する若者が)自立できるまで生活基盤を支えながら民間の物件、大きな間取りへの橋渡しの流れをつくる。

Q2・基本構想・計画の基礎となった意向調査の対象、回答数は。

A2・18歳から38歳までの無作為抽出した1,200人からの回答が377人。このほか大手企業関連で278人中、回答173人。誘致企業のウェブアンケートで回答33人。

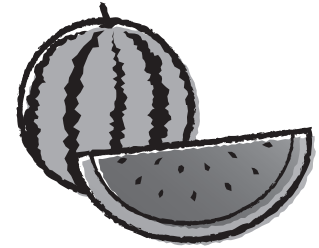
Q3・市内に相当数ある空き家を活用できないのか。意向調査で、初めから飲食店や商業施設等が多くある由利本荘市、秋田市等を希望する傾向はなかったか。

A3・市内物件の多くは、若者世代の条件からミスマッチが起きている。「それならば条件の合う市外に」というのが実際の状況・背景と考えられる。新築物件を望む声が多かった。飲食店、商業施設に近いことは最も望まれている(調査上、他市の選択はない)。

議会の視点

にかほ市の次代を担う若者の移住定住を実現するために何が必要とされるのか。市では市内外の若者に対する意向調査を行った。そこで打ち出された理念・方針は以下のとおりである。「若者の多様なニーズを的確にとらえた魅力ある住宅の整備」

「若者が安心・安全、快適に暮らせる住環境の創出」 「環境にやさしい住宅の整備」 にかほ市総合発展計画の基本構想に謳う「若者に魅力のあるまち」の具体化に、大きく踏み出す取り組みと理解するが、市では従来にない斬新な事業である。今後も、にかほ市にとっての必要性と計画内容を市民と共有し、理解と共感を得ながら事業を進める必要がある。



議案・賛否一覧

総務…総務常任委員会、教民…教育民生常任委員会、産建…産業建設常任委員会 決算…一般会計決算特別委員会、予算…一般会計予算特別委員会 ○は賛成 ●は反対(※議長は表決しない) 簡易表決とは、可決に「異議がない」ことを会議に諮る簡易な方法のこと。

Table with columns for item number, name, result, and council members (1-18). Section: 4月臨時会(4月27日)

Table with columns for item number, name, result, and council members (1-18). Section: 6月定例会(6月8日~6月21日)



### 総務常任委員会

(予算小委員会)

議案第51号

令和3年度にかほ市一般会計補正予算(第4号)

若者支援住宅整備に伴う公有財産購入費 88,650千円

概要 若者支援住宅整備事業の住宅用地(約1.6ha)の取得費。

- ・転出増の状況下、スピード感を持って進める事業
- ・入居の主体は、人口減少抑制のための市外在住者
- ・市内在住者は特定の企業を条件とせず平等に募集
- ・民間アパルト経営者への配慮として、新規に住宅を求める人を優先させる
- ・収入条件は設けない等としている

#### 議会の視点

若者の定住対策事業を推進するためには、住宅整備のみならず、若者が求める働きたい職場魅力ある職場の充実も同時に進める必要がある。

基幹系及び内部系業務システムクラウド移行委託料 29,643千円

問 クラウド移行によるメリットは。

答 現在の自庁方式よりも低コストとなり、令和7年末に予定されるシステム改修の際、市の財政負担及び職員の事務負担も軽減される。

成人保健事業費時間外勤務手当 16,664千円

概要 新型コロナウイルスワクチン接種業務(休日集団接種・休日臨時予約センターを含む)に関するもの。

問 個別接種が主流となれば、時間外勤務が緩和されるのか。

答 集団接種の実施回数が増えた場合は緩和するが、接種対象者が65歳未満に移行し、平日夜間や休日の集団接種が充実していくのに伴い、時間外勤務の増加が見込まれる。

高機能消防指令センター等更新業務委託料(第1期) 149,710千円

概要 データベース管理用サーバー等情報系機器の更新をするもの。

問 情報系機器の耐用年数は約5年だが、通信系機器との整

合性は取れるのか。

答 互換性がある機器を更新していく予定。現行システムを使用しながらの更新のため、3期計画としている。

避難路測量実施設計業務委託料 2,970千円

概要 塩焚浜地内急傾斜地の避難場所への避難路整備に係る測量・設計業務を委託するもの。

問 避難路が急勾配とのことだが、傾斜を緩めることは検討しなかったのか。

答 緩傾斜にすることで避難路の全長が延長し、法面の作り直しが必要となることから、今回は採用しなかった。

(若者支援住宅整備予定地)



陳情第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情

審査概要 一昨年前に同様の陳情が採択。コロナ対策関連で3項目が追加されており、採択とした。

#### 所管事務調査の実施

○旧上浜小学校舎「わくばにかほ」の利活用状況

- 【ハード事業】令和2年度完了
- 【ソフト事業】令和3年度実施
- ・新たな人材の確保、育成
- ・既存ベンチャーの育成
- ・支援スタッフの育成

○旧上郷小学校舎「にかほのほかに」の利活用状況

- 【ハード事業】令和3年度実施
- ・案内看板の設置
- ・案内看板の設置
- 【ソフト事業】令和3年度実施
- ・ワークショップ開催
- ・ラジオ・動画等の情報発信
- ・情報発信端末の整備

#### 若者支援住宅整備事業

○若者支援住宅整備事業 補正予算案は可決としたが、事業手法や基本構想等については更なる調査が必要であるため、次回会期まで調査を継続することとした。

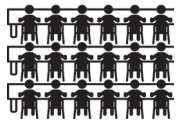
#### 議会の視点

審査基準の緩和や返済期間の改正等が行われ、市民が利用しやすくなったことは喜ばしいが、返済金の滞納分については、不納欠損処理が出来ないことから完済させるための取り組みが必要とされるのでは。

#### 陳情第3号

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情について」

審査概要 学級の少人数化が進んだとしても、昔に比べ様々な問題・要望が出されているため、教員の負担は減らないと考えられる。教員数の増加が、一人一人の負担軽減に欠かせないものとして、採択とした。



### 教育民生常任委員会

(予算小委員会)

議案第51号

令和3年度にかほ市一般会計補正予算(第4号)

新型コロナウイルス感染症対策事業費大学生等生活支援給付事業 40,272千円

概要 学生生活に多大な支障が生じている市外在住の学生と、保護者を支援するもの。学生に現金2万円、保護者に市内商品券3万円を給付する。

保育対策総合支援事業補助金 750千円

概要 保育士の事務処理の省力化を図るための経費を補助するもの。

問 市内の導入状況は。

答 平成28年度当初より各園へ紹介しているが、自己負担もあるため全園での導入は難しく、今回で3園目となる。

新型コロナウイルス対策生活応援事業【県事業】 57,670千円

概要 市民税非課税者及び児童手当を受給(公務員・特例給付を除く)する子育て世帯に

一人当たり1万円の市内商品券を給付するもの。

問 商品券の使用は、市内に限定しているのか。

答 地域経済の支えが目的の一つのため、市内店舗のみとなっているが、商工会加盟店以外の店舗も広く募集する。

子育て世帯生活支援特別給付金事業【国事業】 6,618千円

概要 児童手当・特別児童扶養手当受給者のうち、住民税均等割が非課税、若しくは非課税と同等の事情にあると認められる方に児童一人当たり5万円を支給するもの。

新型コロナウイルスワクチン接種事業関連 37,974千円

概要 接種人数の変更ににより、接種計画事業費の見直しをしたもの。

集会の視点

集団接種人数を当初の120名から240名に増加し、国の推奨する期間内の高齢者接種完了を目指している。当初混乱のあった予約方法の改善もなされているが、行政に対して市民が不安や不信を抱くことのないよう、十分に内容等を周知した上

で、事業を進めるべき。

白瀬南極探検隊記念館修繕料・施設修繕工事請負費 550千円

問 施設内の雨漏りや照明機器の修繕について、早期に対応できなかったのか。

答 施設の安全点検は、法定に沿って行っている。修繕についても、業者に確認の上計上しているが、早急に処置が必要とされる場合は対応する。

#### 議会の視点

建設から30年が経過する施設なので経年劣化は当然だが、不具合箇所については、初期のうちに対策すべき。

#### 議案第49号

にかほ市奨学基金貸付基金条例の一部を改正する条例制定について

概要 貸付上限額の改定や返済期間の延伸などをするもの。

問 学部により授業料等に差があるが、貸付上限額を増額する予定はあるのか。

答 返済が困難になるため、増額予定はないが、今後他の奨学金との併用受給も検討したい。





産業建設常任委員会

(予算小委員会)

議案第51号

令和3年度にかほ市一般会計補正予算(第4号)

農業関連施設登記業務委託料

149千円

概要 黒川農業改善センターを黒川自治会へ譲渡するにあたり、建物の未登記が判明したため、登録業務を委託するもの。

漁港浚渫委託料

15,000千円

概要 小砂川漁港の浚渫及び浚渫の金浦飛地区への運搬を委託するもの。

問 堆積砂の浚渫は毎年予算措置が必要か。

答 今後も浚渫による維持管理を要すると見込まれる。

議会の視点

漁港の環境美化については、市民からの要望を待つだけでなく、補助制度の作成や県の政策の適用を図れるよう市がリーダーシップを取って進めていきたい。

経営発達支援事業費特産品開発助成金 1,149千円

概要 市内事業者が行う特産品の開発に係る設備投資・調査研究費用等を助成するもの。

問 内容の詳細は。

答 いちじくの卸先からの「一次加工処理済みの商品」との要望を受け、機械設備の導入により更なる販路拡大を目指す事業者へ助成金を交付する。

企業人材育成事業費技能実習生受入支援事業補助金

1,000千円

概要 今年度新規に外国人技能実習生を受け入れ予定の市内企業へ、受け入れに係る監理団体等への費用を助成するもの。

問 技能実習生の導入実績は。また、企業からの要望は。

答 令和3年5月末現在、39名を受け入れている。一部の企業からは、市で実施している実習生交流会事業の継続や受け入れ企業に対する財政支援を希望する意見があった。

移住者支援住宅用空き家リノベーション業務委託料

1,000千円

概要 既に整備済みの2棟に加

え、新たに1棟を移住者支援住宅として整備するもの。

ねむの丘公園落石防止工事請負費 832千円

概要 ねむの丘公園法面に隣接する民家への落石防止のため、ネット等の対策工事を行うもの。

問 指定管理者であるねむの丘の施設管理に含まれないのか。

答 概ね50万円以上の修繕・工事の際は、市で予算計上し安全対策を施している。

スポーツ振興基本計画策定関連

256千円

概要 スポーツ振興基本計画(平成22年度策定)を基に、第二期計画を策定するもの。

問 基本計画の中に、アウトドアスポーツも含まれるのか。

答 計画案中のスポーツツーリズムの中にアウトドアも含まれている。国・県の計画を基に、にかほ市独自のものを計画に盛り込みながら策定する。

屋内運動施設管理費備品購入費

450千円

概要 屋内運動場のマガジンラックや授乳室ソファ、サブアリーナソフトマット等の備品を購入するもの。

問 今後も、必要とされる備品があるか。

答 今後の利用状況、利用者の意見等も踏まえ、追加も考えられる。施設への案内看板の設置も検討する。

議会の視点

建物の愛称を市内の小学生から募集することだが、それ以外にも市民が親しみやすく、利用しやすくなるような工夫がほしい。また、様々な施設が集約しているエリアのため、今後統一性のある開発計画を図る必要があるのではないか。



〈移住者支援住宅〉

一般質問

本会議の様子は議会ホームページからオンデマンド(録画)でご覧いただけます。



Table with 3 columns: Member Name, Questions, and Page Number. It lists various council members and their respective questions on topics like COVID-19 vaccination, school equipment, and local infrastructure.

全国市議会議長会感謝状



議長会評議員としての役員活動に対し感謝状が贈呈されました。

評議員 佐藤 元 議長

議会の基礎用語

一般質問

市の行政全般にわたって執行状況や将来方針を質問すること

質疑

議案等の提出者が趣旨説明した後、議案の不明確な点を質問すること





佐々木孝二 議員

### 11月の市長選への出馬意向は

**市長** 計画途上もあり責任世代を立証したいが後援会の意見を聞いてから。検討の最中である



**問** 令和3年11月には市長任期が満了するが、答弁可能な範囲で、市川市長の出馬予定、意向、考えを伺いたい。

**市長** まだ計画しているものも含め、途上にあるものも多くある。4年前の立候補時に主張した責任世代であることの立証も続けなければならぬとは考えてはいる。

ただ、2期目の出馬決定には、後援会による機関連意決定を飛ばすわけにはいかない。私の意思決定は、後援会の意見を十分に聞き、段取りに基づいて行わなければならない。現時点では、検討している最中であると答えさせていただく。

**新型コロナワクチン接種事業の懸念事項は**

**問** (65歳以上の) 集団接種予約は4月19日に開始したが、電話が大変混雑したと聞く。その反省点から、その後、どのように改善・対策したのか。

**市長** 5月は電話回線を増やし、1、2日目は80歳以上の優先予約とした。電話やウェブ予約が困難な方には窓口申請の対応

をしている。

**問** 5月の第2回予約の混雑状況は。

**市長** 開始直後は電話が集中、ウェブ予約も多かった。(80歳以上の優先解除後の) 4日目電話回線は全て使用され11時半に予約枠に達した。その後、電話が落ち着き随時自動音声に切り替えた。

**問** 本市での65歳以上の接種の完了はいつ頃と予想しているか。また64歳以下の接種はいつ頃からと想定しているか。

**市長** 65歳以上は7月末までに7割接種を実施できるような進捗はいる。64歳以下については、8月頃に基礎疾患を有する方の接種を想定している。

**問** バスの運行・副反応等の問題はなかったか。

**市長** 現時点でバスの運行の混乱、集団接種会場での副反応の報告はない。

**問** 個別接種については、

**市長** 担当が各医療機関を訪問し、協力を要請中。

このほか「学校のタブレット端末配布後の状況について」質問しています。



伊東あつこ 議員

### 基盤整備が「象潟」を守るスタートか

**市長** (にかほ型ほ場整備として) 腹をくくって取り組む



**問** 「象潟」の保全・保護、九十九島周辺の環境整備について。

**市長** 保存するすべての島には維持管理の為に畦畔等を接続し、これまでより管理しやすい体制を整える。また、現状の農地を10アール区画から1ヘクタールへ整備を行う。営農と景観を両立した区画割り及び農道の設置により、象潟九十九島の保全と景観向上を図る。これは全国でも稀有な環境保全型のほ場整備で、「にかほ型ほ場整備」として注目を受けている。

5月に県、土地連、JA、土地改良区等の関係者で組織する象潟前川地区環境保全型ほ場整備推進委員会を立ち上げており、連携して事業に取り組んでいく。

**問** 平成31年3月定例会一般質問における「九十九島エリア内の電柱の地中化及びため池に関する」の検討状況は。

**市長** ため池の整備は今回の事業(ほ場整備)では実施しない。整備区域の電柱の地中化については、昨年度から秋田県の無電柱化調整

会議に加盟し、関係機関と協議を進めている。

**問** 農地の管理について高齡化・社会の変化にどう対応していくのか。

**市長** 中間管理機構に一括集約するため、賃借の手続きが簡素化される。農地は大きくなるが、スマート農業という新たな農業形態の広がりにより、新たな担い手も十分に確保できるようにするのはないか。

**問** 「象潟」を守ることに対し、どのような意思や覚悟があるのか。

**市長** 農地で農業に従事した結果、それなりの収入が確保できる仕組みがなければならぬ。生産されたものを売り込める仕組み、基盤整備後の農地を、観光面やジオパーク面でも活用しながら、多くの人たちが何らかの形で関係し得る仕組みづくりを、私たち行政は努力して作り上げていかなければならない。

### 教員免許更新制度は廃止を

(国に) 根本的な検討を期待したい

**教育長**



**問** 教員の資質向上を名目に免許更新制度が始まったが、多くの弊害により廃止や抜本直しが求められている。「教員免許更新制度」の廃止についての見解は。

**教育長** 教員の負担軽減のためにも、更新講習の実施削減や教員のニーズに応じた内容にするなど、(国に) 根本的な検討を期待したい。

**少人数学級と市内の状況**

**問** コロナ禍の下、少人数学級の良さが再確認されているが、市内小中学校の35人学級の有無について。

**教育長** 県事業により、現在35人超は平沢小3年生のみ。

**問** ギガスクール構想に関して①生徒の健康被害授業の工夫、教員負担への対応は。②各校へギガスクールサポーターを配置するべきでは。

**教育長** ①端末未使用時間は短時間のため、健康への影響は少ない。授業内容に格差が出ないよう、にかほ市情報教育活性化委員会での検証成果を活用したい。仁賀保高校や民間企業等の連携により、



佐々木春男 議員

### 硬式野球場及びパークゴルフ場新設整備に対する市長の考えは

現時点では整備は考えていない

**市長**



**新設整備事業の考え**

**問** 硬式野球場及びパークゴルフ場新設整備に対する考えを伺う。

**市長** 硬式野球場やパークゴルフ場は広大な用地や莫大な事業費がかかる。優先度を見極めた上で、第2期総合戦略や事業実施計画には位置づけしていない。多目的屋内運動施設に続き、現在計画する象潟前川地区ほ場整備事業、象潟大竹線及び象潟前川間の道路改良、消防本部高機能指令センター更新などに加え、人口減少克服を見据えた若者支援住宅の整備を最優先と捉え、現時点では硬式野球場やパークゴルフ場の整備は考えていない。

**問** 硬式野球場とパークゴルフ場の新設整備の具体的な検討を進める条件と整備時期をどう想定しているか。

**市長** 硬式野球場やパークゴルフ場の整備を望む声も理解するが、行政課題としての優先度は高くない。現時点では、両施設とも整備時期や条件の答えは控えない。

**コロナ感染症対策**

**問** 本市の飲食店や高齢者施設、学校、保育所等の感染対策状況をどう捉えているか。

**市長** 現在まで由利本荘保健所管内で感染クラスターは発生していない。これは管内の高齡者施設、保育所、事業所等の施設が感染防止対策を適切に講じていることと認識している。

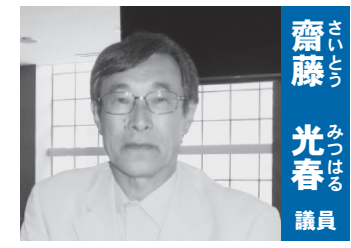
**問** 市職員の出張・私的旅行について、「緊急事態措置区域」へは、真にやむを得ない場合を除き行かないこととされているが、1年を通してやむを得ない出張や私的旅行はあったか。

**市長** 緊急事態宣言の対象となった区域への公務出張は、昨年の4月から今年5月末までの14カ月間を通じて1件もない。私的旅行は、千葉県が5件、埼玉県が3件、東京都、神奈川県、沖縄がそれぞれ1件ずつとなっている。



佐々木正勝 議員





齋藤 光春 議員

### 市民の声に耳を傾け一体となって考えていく それが、我々が携わる責任ではないか

**市長** 事業は行政側の自己満足であってはならない  
常に相対して意見交換して進める

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種事業について  
**市** 高齢者の予約方法は予約票を直接送る、または接種日を指定するなどの優しい対応をとるべきでないか。  
**市民福祉部長** 電話とウェブだけでなく窓口受付をしている。意思表示があれば、接種予約できるような方法を考える。



**問** 市民に不安を与え、一部へのひいきでないかと疑念を持つような事例を聞いた。5月17日の保健センターでの集団検診の際に、個人病院関係者の接種予約の話（通院患者、その家族の予約を受け付けている）があったと聞いたが、これは事実か。  
**市民福祉部長** 把握していない。  
**問** 5月19日にデイサービスで接種を行った事実がなかったか。  
**市民福祉部長** その時点で市内の高齢者施設での接種は開始していた。（デイサービス接種もあったと思われる）  
**問** スマイルでの集団接種以外、ワクチンを個人病院に配布した事実はないか。

**市民福祉部長** その時点で、医療機関での個別接種は行っていないし、伺っていない。  
**自主財源確保のための産業振興事業について**  
**問** それぞれの産業における地域の特性を生かした可能性のある施策について市長の考えを聞きたい。議員も市長・職員も、すべて一市民。市民の声に耳を傾けながら、様々な分野の産業と市の発展について考えていく時期ではないか。それが、我々が携わる責任と思うが、市長の考えは。  
**市長** 私も常にそういう視点でいる。事業は決して行政側の自己満足であってはならない。（水産業もどの産業でも）出向いて話を聞いて、ニーズを掘り起こし、寄り添っていくことだと思っている。常に相対して意見交換をして、事業を進めていくことが、市民に寄り添った行政運営だと理解している。

**問** 5月19日にデイサービスで接種を行った事実がなかったか。  
**市民福祉部長** その時点で市内の高齢者施設での接種は開始していた。（デイサービス接種もあったと思われる）  
**問** スマイルでの集団接種以外、ワクチンを個人病院に配布した事実はないか。



小川 正文 議員

### 対面教育とGIGAスクール教育との並行について

**教育長** 新たな対面授業に挑戦

**問** 市内の大手企業について  
**市** 市長は、市内の大手企業についてはどのような

**教育長** 授業の場には1人1台端末を導入しても、教師と生徒が対面して行う教育が主体であることは変わらない。今までの対面授業から少し脱皮し、新たな対面授業に挑戦していくよう、教育委員会と教育現場で努力していきたい。  
**問** オンライン授業における生徒、先生、家庭間のこれからのコミュニケーションの取り方について伺う。  
**教育長** GIGAスクールを実施しながら機械的なICT（※）活用だけでなく、精神面の強さ等も一緒に鍛えたい。またコミュニケーションを大事にし、人間性を豊かにしていくことを大事にしていきたい。

**問** 若者支援の住宅についてだが、これは市の政策か、大手企業から要請があった政策なのか。  
**市長** 市の政策である。本市は、要望書を受ける前の段階から大手企業との話を詰めている。大手企業関係者の若者支援住宅としての役割を果たすと同時に、更に門戸を広げた若者への支援として人口減少対策としての若者支援ということを取り組んでいきたい。

**問** GIGAスクールにおける教育を、今までの教師と生徒が対面して行ってきた教育と、どのように並行して行っていくのか。  
**教育長** 授業の場には1人1台端末を導入しても、教師と生徒が対面して行う教育が主体であることは変わらない。今までの対面授業から少し脱皮し、新たな対面授業に挑戦していくよう、教育委員会と教育現場で努力していきたい。  
**問** オンライン授業における生徒、先生、家庭間のこれからのコミュニケーションの取り方について伺う。  
**教育長** GIGAスクールを実施しながら機械的なICT（※）活用だけでなく、精神面の強さ等も一緒に鍛えたい。またコミュニケーションを大事にし、人間性を豊かにしていくことを大事にしていきたい。



齋藤 聡 議員

### ホームページの全面リニューアルについて

**市長** 利用者にとっての使いやすさを優先する

**問** 議会より市民の声をもとにホームページのリニューアルを提案したが、どのような形になるのか。  
**市長** ①視覚的に人々を引き付ける魅力あるデザイン②必要最小限のクリックで必要な情報にたどり着ける情報配置③ホームページの管理のし易さに重点を置き、情報発信の向上に努める。



**問** 移住定住を考えると、重要な点だと考えるが、通塾に対する補助を再考されるつもりはないか。  
**市長** 教育環境の充実はトータルパッケージで考え、偏差値ではない体験値、経験値に基づいた将来設計ができるよう、内々では地域留学も視野に入れ検討に入っている。  
**教育長** 当市ではこれまでも教育に関する様々な施策で子育てを支えてきた。特に日常の授業では誰一人取り残されないようきめ細やかな指導を行っている。通塾に対する

補助は移住定住へのインセンティブにつながることは考えにくいので、補助は検討していない。  
**観光における更なる情報発信が必要では**  
**問** 高速の開通に向けて、更に強力な「情報発信」の構想はあるのか。  
**市長** 観光情報については、市・観光協会のHP、SNS、各情報雑誌、新聞、テレビ、ラジオ番組等に加え、移住リエゾン、県内活躍のインフルエンサーを活用し、情報発信を強化している。特に超神ネイガーによる「GENKI RECHARGE NEIGER PROJECT」については、大きく明るい話題になっており、全国的にも大きな宣伝効果を得ている。また、ふるさと納税返礼品送付時に観光PR冊子を入れる等の地道な活動も継続して行っていく。

**問** 移住定住を考えると、重要な点だと考えるが、通塾に対する補助を再考されるつもりはないか。  
**市長** 教育環境の充実はトータルパッケージで考え、偏差値ではない体験値、経験値に基づいた将来設計ができるよう、内々では地域留学も視野に入れ検討に入っている。  
**教育長** 当市ではこれまでも教育に関する様々な施策で子育てを支えてきた。特に日常の授業では誰一人取り残されないようきめ細やかな指導を行っている。通塾に対する



渋谷 正敏 議員

### 象潟・金浦・仁賀保、各地域の将来の姿は

**市長** 地域住民と一緒に未来を描いていけるよう取り組んでいきたい

**問** モンベル等を中核の店とした商業団地・商店街の構想を提案する。また、まちの顔である駅前再開発について、市長の

**問** 市内の小規模企業の発展が地域の発展につながるかと考えるが、市が特別に応援できることは。  
**市長** 企業立地促進条例による手厚い支援を行っているが、新たな時代ニーズに取り組む企業を支援する体制を目指す。  
**問** 小規模企業の設備投資に、償却が終わる7年程度の固定資産税免除を提案する。  
**市長** 現在、条例による5年間の固定資産税免除の認定による3年間の免除を行っているが、意見は今後の施策の参考にさせていただく。

**問** 象潟、金浦、仁賀保の各地域の特徴は違うため、その地域に合った施策が必要と考える。各地域の将来像はこうありたいとする市長のイメージは。  
**市長** 全地域で発展するに、かほ市を未来に届けた。コミュニケーション生活圏形成事業の取り組みを広げ、地域住民と一緒に未来を描いていきたい。

**問** 3月定例会で請願採択された霊峰公園駐車場トイレ整備に関する当局の対応、方針を伺う。  
**市長** 請願の重みは重々理解している。現在は県との協議の段階。  
**問** 象潟、金浦、仁賀保の各地域の特徴は違うため、その地域に合った施策が必要と考える。各地域の将来像はこうありたいとする市長のイメージは。  
**市長** 全地域で発展するに、かほ市を未来に届けた。コミュニケーション生活圏形成事業の取り組みを広げ、地域住民と一緒に未来を描いていきたい。



# 市民の声は どうなった？

提案事項 具体案

**予算？ 執行？**

市当局の考え、対応等

1. 移住・定住施策として
- ・情報発信の改善
  - ・市ホームページの再構築

- ・令和3年度に市ホームページをリニューアル。移住・定住者向けは再構築予定なし。工夫は重ねる。

現在の市ホームページ



仁賀保高校

2. 仁賀保高校との永続的連携
- ・市内の交流事業
  - ・生徒数を確保する施策
  - ・学校魅力化プロジェクト
  - ・スクールコーディネーター配置
  - ・他地域からの留学生受け入れ
  - ・通学利便のためコミバス改善

- ・「にかほっと」で学校祭、小中学校で連携事業など、仁賀保高校は地域交流に取り組んでいる。
- ・生徒数確保、学校魅力化プロジェクトは県教委と協議、支援する。
- ・スクールコーディネーター、留学生は教育施策として県の検討が必要だ。
- ・コミバスのダイヤ改正（R2.1）で改善を図っている。

3. 図書館機能付き文化施設
- ・複数の機能を持たせる
  - ・将来人口や財政を考慮
  - ・運営体制を同時に検討
  - ・文化・教育団体の意見を聴取
  - ・市全体施設を計画に沿って管理

すべての事項が検討中

4. 観光振興に関する  
課題解決のための提案
- ・ストーリー性のある観光案内、展示
  - ・「九十九島」の「潟」を復元
  - ・周遊コミバスや周遊観光バス
  - ・近隣との広域観光ルート
  - ・案内看板や設置個所の改善

- ・郷土資料館の展示、パンフはストーリー性を考慮。ジオサイトとの連携でストーリー性に配慮する。
- ・「潟」の復元は困難だが、ほ場整備で景観は向上する。散策路は再設定。AR技術で「映像の潟」を再現する。
- ・コミバス周遊は予定なし。納涼バス、周遊タクシーを運行。
- ・環鳥海などの広域観光事業はコロナで休止中。
- ・案内看板は分かりやすく設置。常に検討している。



- ※議会報告会（中高生）の提案
- ・街並みを見渡せる展望台やタワー
  - ・若者中心のイベント
  - ・九十九島のオーナー制や命名権
  - ・鳥海山ロープウェイ



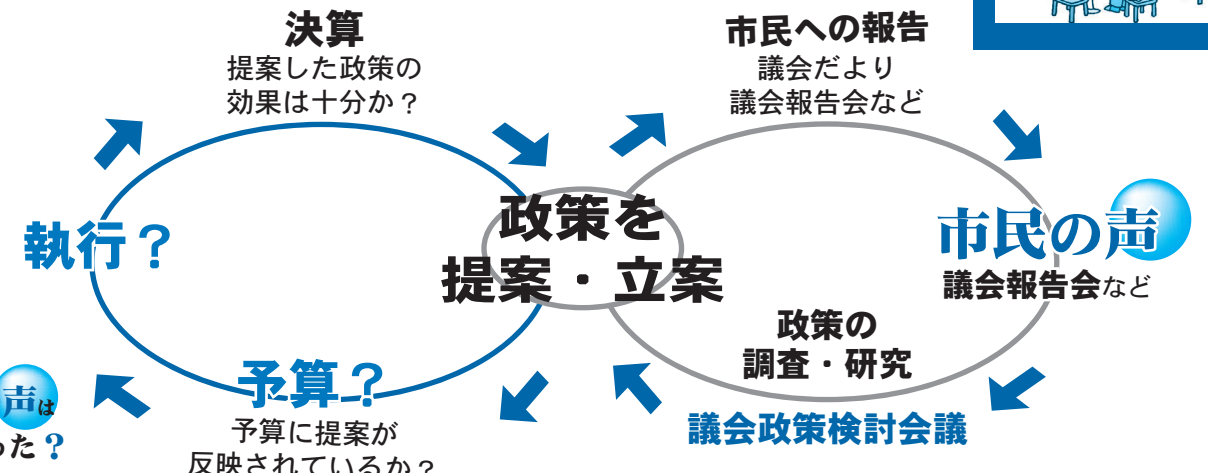
# にかほ市議会の挑戦 市民の声は 実を結んだか？

にかほ市議会は令和2年3月、市長へ政策提案を行いました。平成30年度から取り組んだ議会改革の一環です。

- 議会は
- ・市民の声（議会報告会）を聴く
  - ・調査研究（議会政策検討会議）する
  - ・市長へ政策提案する

- 市長は
- ・提案を採用して議会へ予算案等を提出する
  - ・または提案は採用できないと判断する

「市民の声」「市民のアイデア」は実を結んだのでしょうか？



市民の声は  
どうなった？

## 市長への提案（令和2年3月）

1. 移住・定住施策について  
～情報発信の改善
2. 仁賀保高校との永続的連携について
3. 図書館機能付き文化施設について
4. 観光振興に関する現状・課題及び課題解決のための提案



市民の声 議会報告会  
(平成31年3月)  
(令和元年7月)  
(令和2年1月)

議会政策検討会議  
(令和元年9月  
～令和2年2月)

